

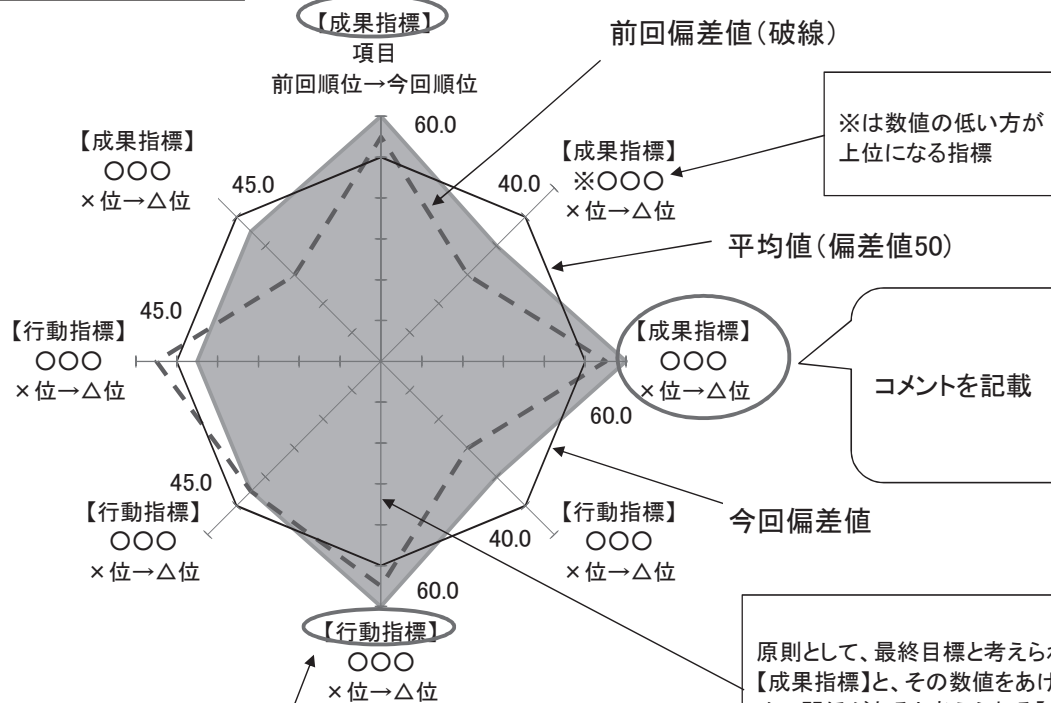
3. 主な指標の推移(全国順位と偏差値)

○ レーダーチャートの見方 (破線は前回偏差値 丸数字は年又は年度)

政策課題名

平成18年度(データがない場合は近隣値)の政策課題における各項目の全国順位と偏差値を、直近の全国順位と偏差値と比較しています。
全国平均値より数値の大きいものが、黒枠(平均値)を超えています。

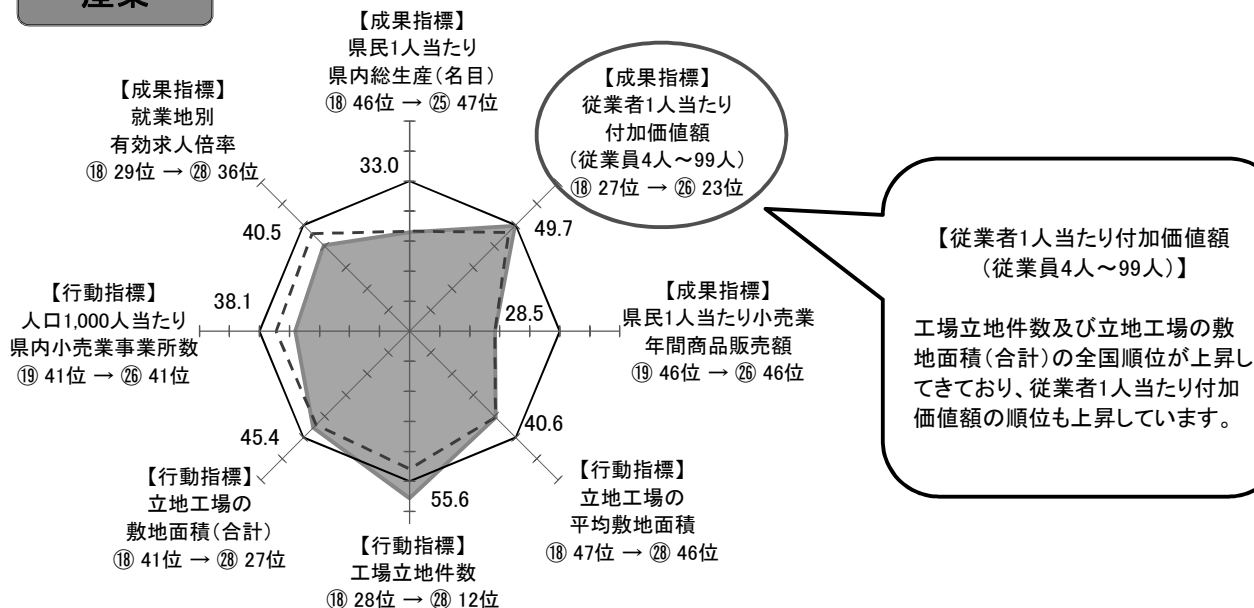
【成果指標】= 県の政策として、数値の向上を目指す指標



【行動指標】= 成果指標の数値向上に向けて、県が力を入れて取り組んでいる指標

経済の活性化

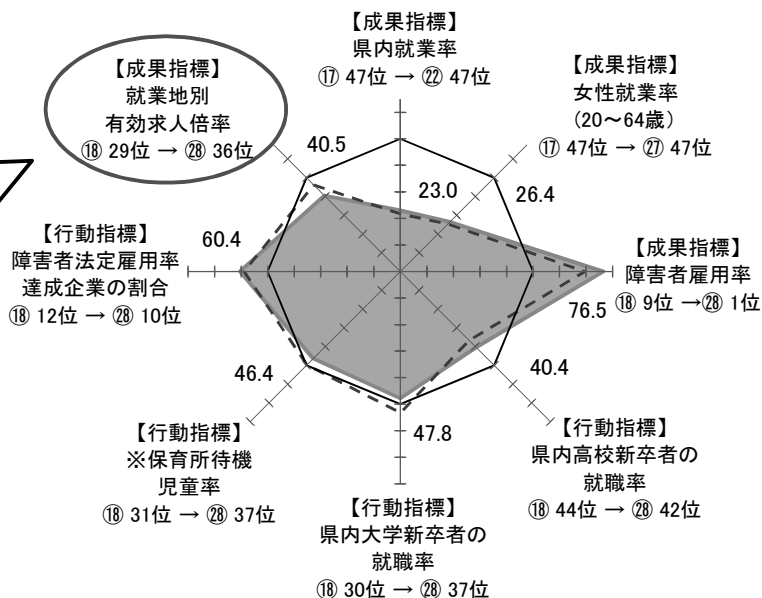
産業



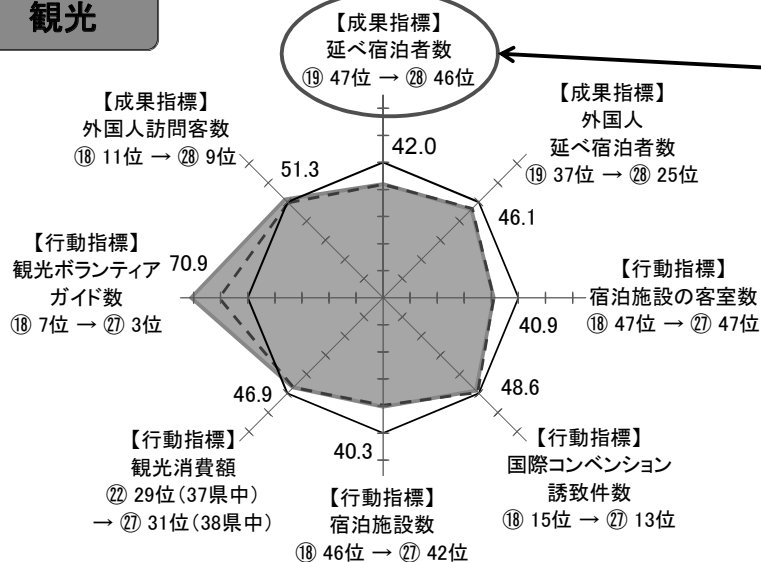
就業

【就業地別有効求人倍率】

就業意識の醸成と職業キャリア形成支援、若者・女性・高齢者等への就業支援、ワークライフバランスの推進により、就業地別有効求人倍率は平成18年と比較して0.23ポイント改善しました。



観光



【延べ宿泊者数】

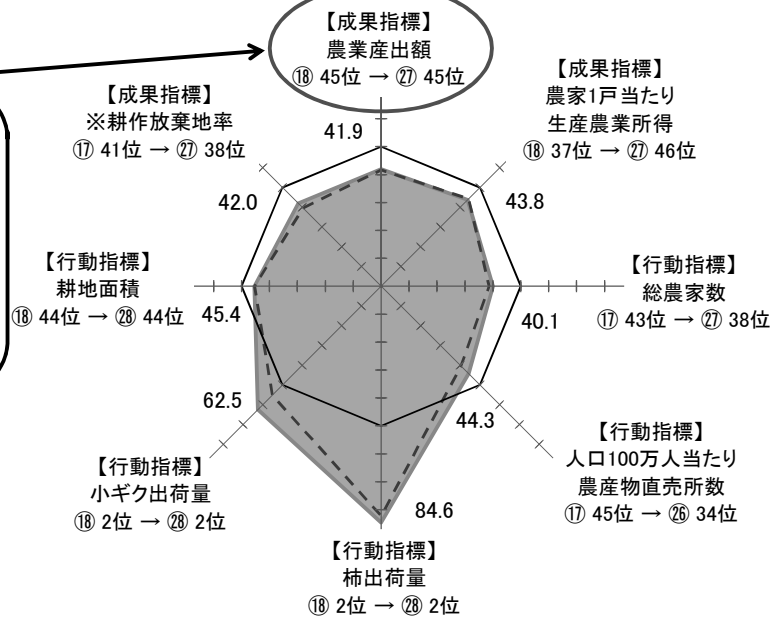
延べ宿泊者数は、首都圏観光キャンペーンや冬季誘客キャンペーンにより、平成24年度以降、260万人を上回っています。

経済の活性化

農業

【農業産出額】

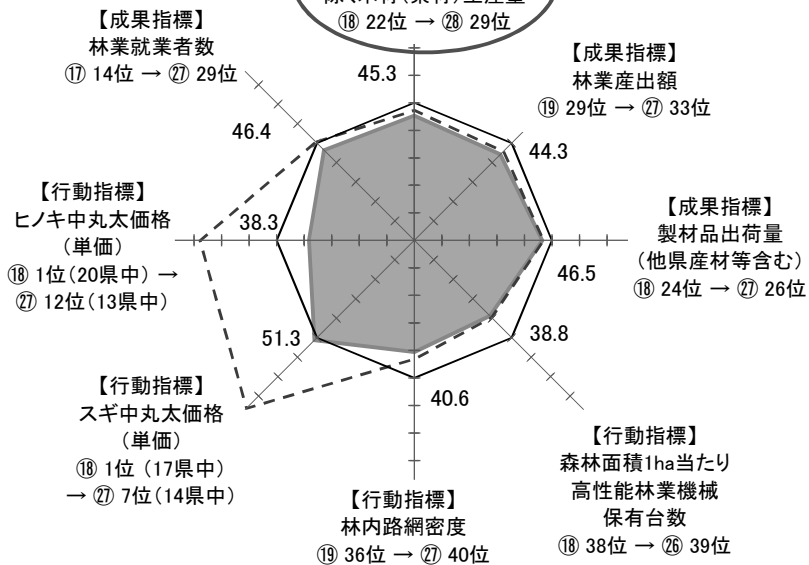
全体の農業産出額は45位と低いですが、柿・小ギク等の出荷量は全国2位と高い順位となっています。



林業

【成果指標】

森林1ha当たり燃料用材を除く木材(素材)生産量
⑩ 22位 → ②⑧ 29位



【森林1ha当たり燃料用材を除く木材(素材)生産量】

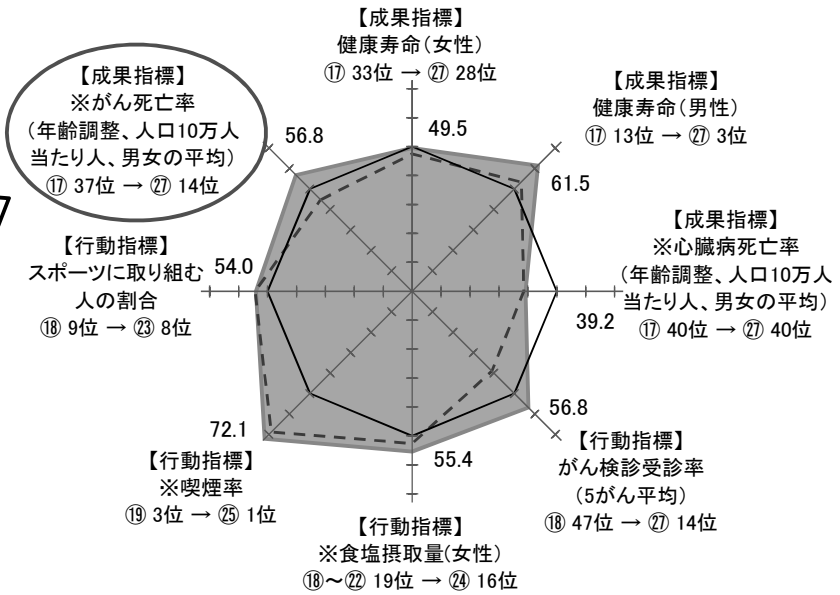
森林1ha当たりの木材(素材)生産量を上げるためには、搬出コストを下げる林内路網整備が必須ですが、紀伊半島の中央部の林業が盛んな県南部地域は、急峻な地形のところが多く、林内路網整備が遅れています。

くらしの向上

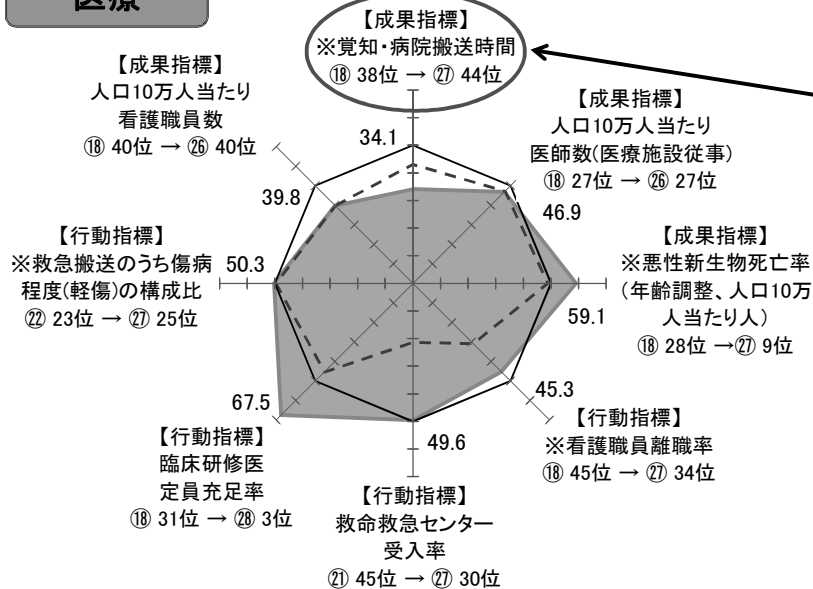
健康

【がん死亡率(年齢調整、人口10万人当たり人、男女の平均)】

市町村と協働したがん検診受診率向上の取組等によりがん検診受診率(5がん平均)の全国順位が上昇しており、がん死亡率も平成17年の37位から平成27年には14位に改善しています。



医療



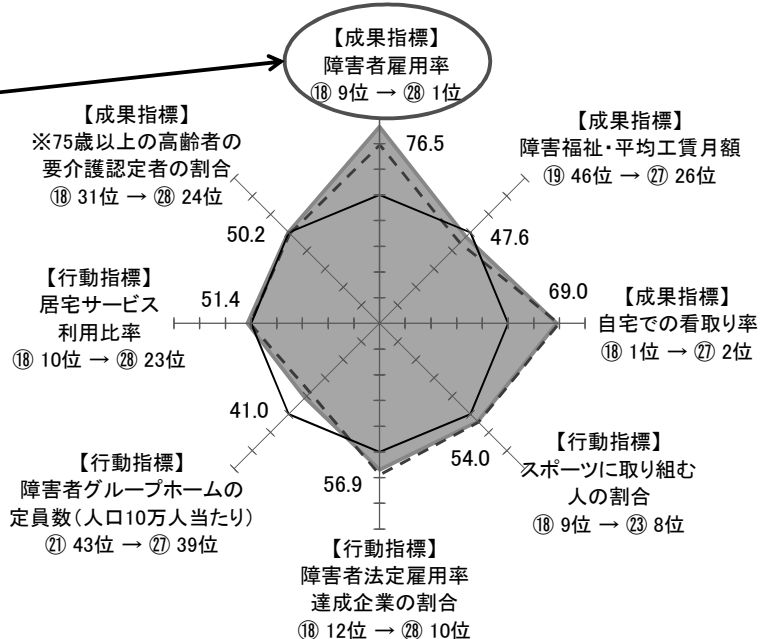
【覚知・病院搬送時間】

救命救急センター受入率は、断らない救急に向けた受入体制の強化等の取組により、改善の兆しが見られますが、覚知・病院搬送時間の全国順位は、救急出動件数の増加による到着時間の遅れ等もあり、平成18年度以降は40位前後と低迷しています。

福祉

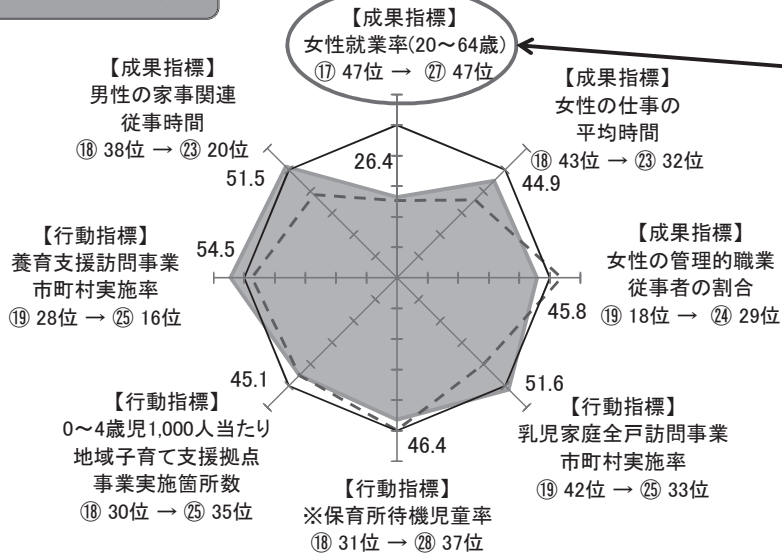
【障害者雇用率】

「障害者はたらく応援団なら」(県と奈良労働局が共同で運営し、障害者の応援支援に積極的な企業で構成)による取組等により、障害者法定雇用率達成企業の割合が平成28年度には全国10位に向上し、障害者雇用率は平成28年度には全国1位となりました。



くらしの向上

こども・女性



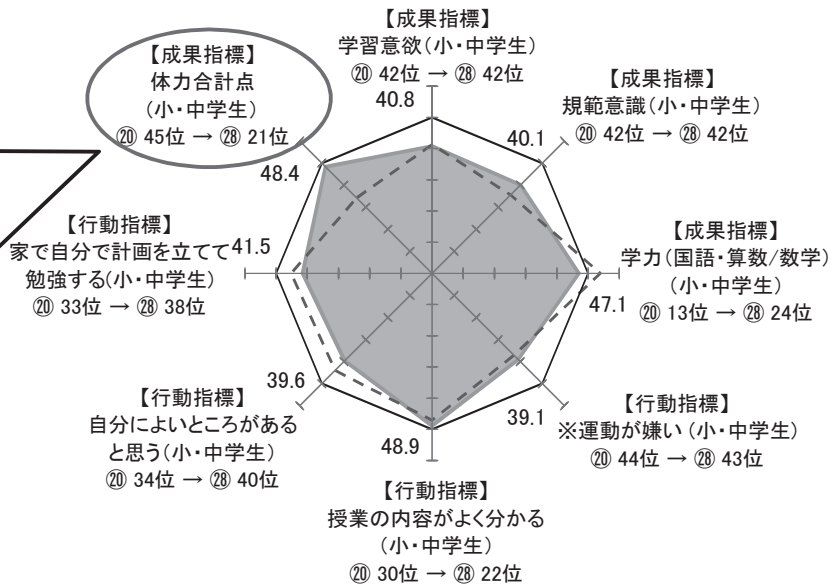
【女性就業率(20～64歳)】

女性就業率向上のために、保育所定員増への整備を進めています。保育所待機児童率は、平成18年度の全国31位から、平成28年度には全国37位と改善しておらず、女性の就業率の順位も、平成22年から平成27年のポイントの伸びは全国1位であるものの、平成17年以降全国47位と低迷しています。

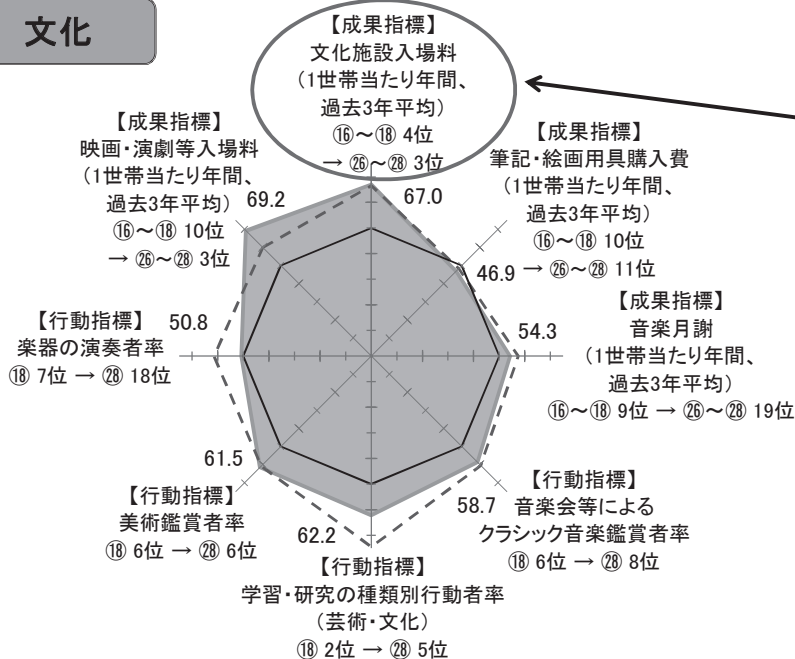
学び

【体力合計点(小・中学生)】

体力合計点は、各校の体力向上推進計画の実行に学校全体で取り組んだ結果、平成20年度の全国45位(小学校105.70点41位、中学校81.94点47位)から平成28年度の全国21位(小学校108.57点30位、中学校92.62点17位)まで向上しました。運動嫌いの子どもの割合も、徐々に改善しています。



文化

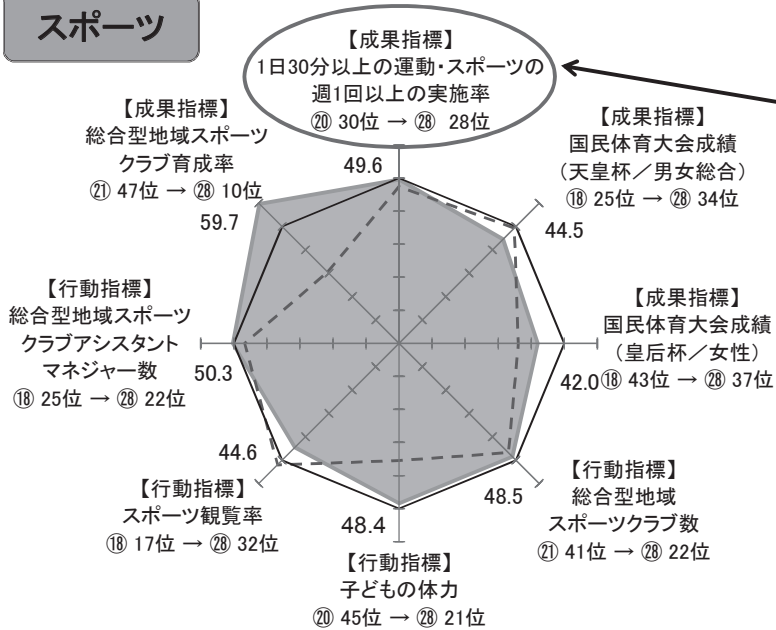


【文化施設入場料(1世帯当たり年間、過去3年平均)】

文化施設入場料は、県立文化施設において魅力あるイベントを開催したこと等により、全国順位が3位、金額が3,175円(平成26年～28年平均)と、前回(平成16年～18年平均)に比べ全国順位、金額ともに上昇しています。

くらしの向上

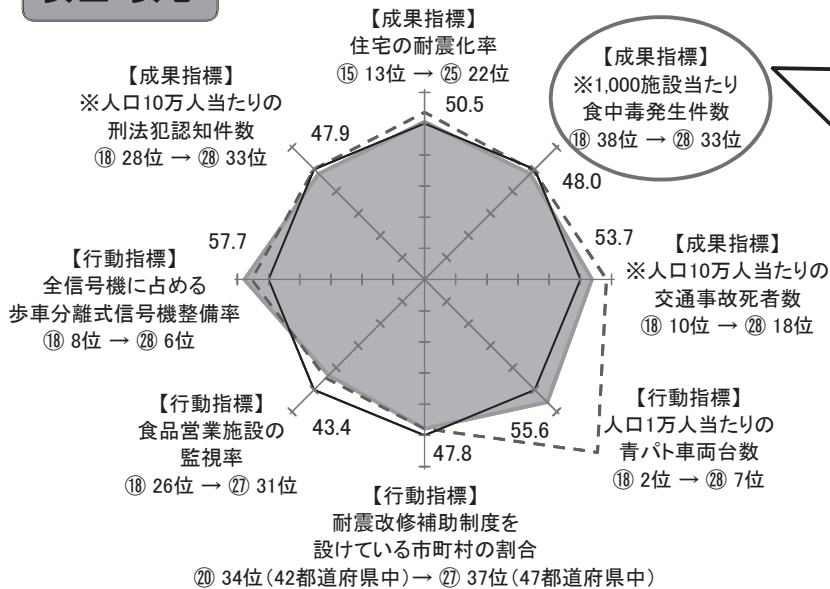
スポーツ



【1日30分以上の運動・スポーツの週1回以上の実施率】

総合型地域スポーツクラブ数の増加に伴い、運動・スポーツをする機会が創出されたこと等により、1日30分以上の運動・スポーツの週1回以上の実施率は、全国平均をやや下回るものの、順位が改善しています。

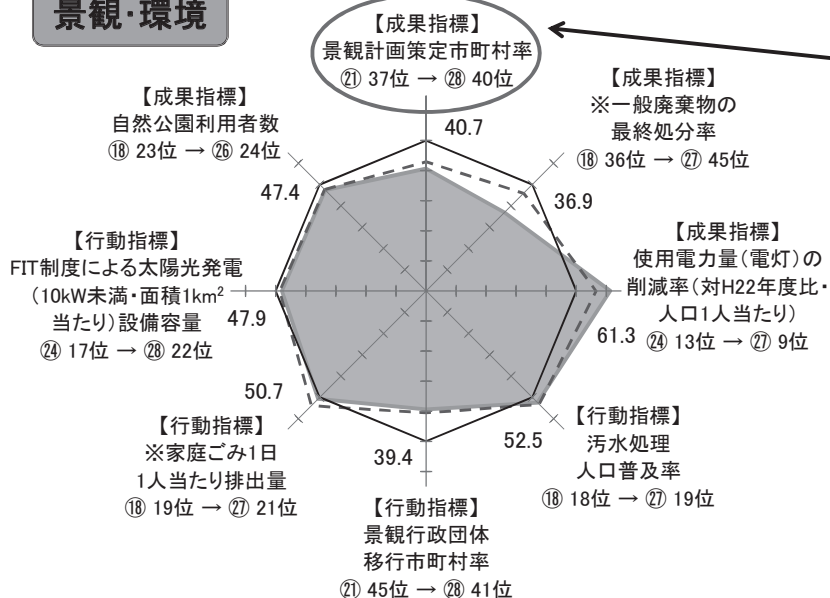
安全・安心



【1,000施設当たり食中毒発生病件数】

食品衛生監視指導計画に基づき、的確に監視指導を実施したことにより、食品営業施設の監視率は、全国順位は下がったものの、割合としては増加しており、1,000施設当たりの食中毒発生病件数は減少傾向にあり、順位が改善しています。

景観・環境

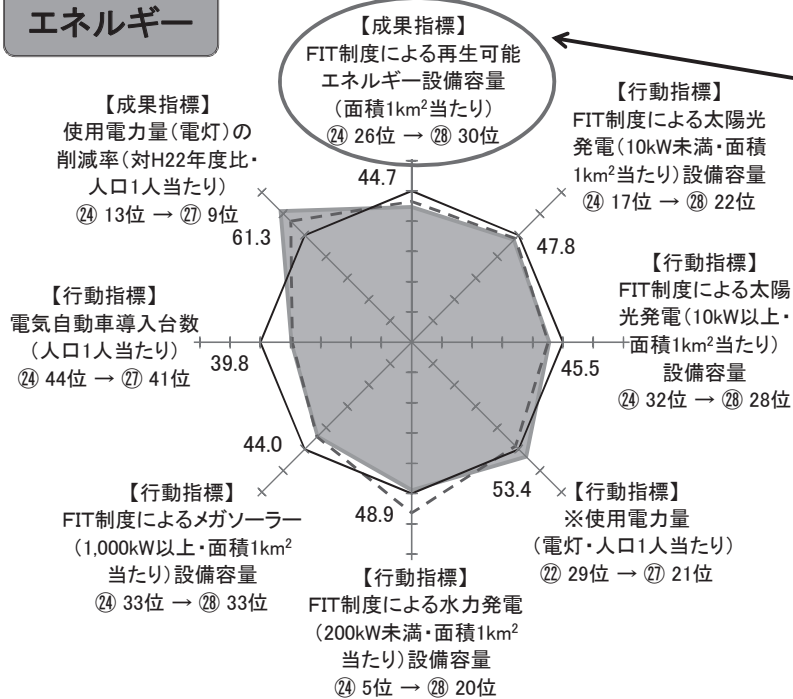


【景観計画策定市町村率】

景観行政団体移行市町村率は、良好な景観の形成、保全に対する意識の高まりを受けて、市町村の景観行政団体への移行が進んだため、順位が改善しました。景観計画策定市町村率は、本県の景観行政団体の全市町村が景観計画を策定したものの、全国でも策定が進んだこともあり、順位が低下しました。

くらしの向上

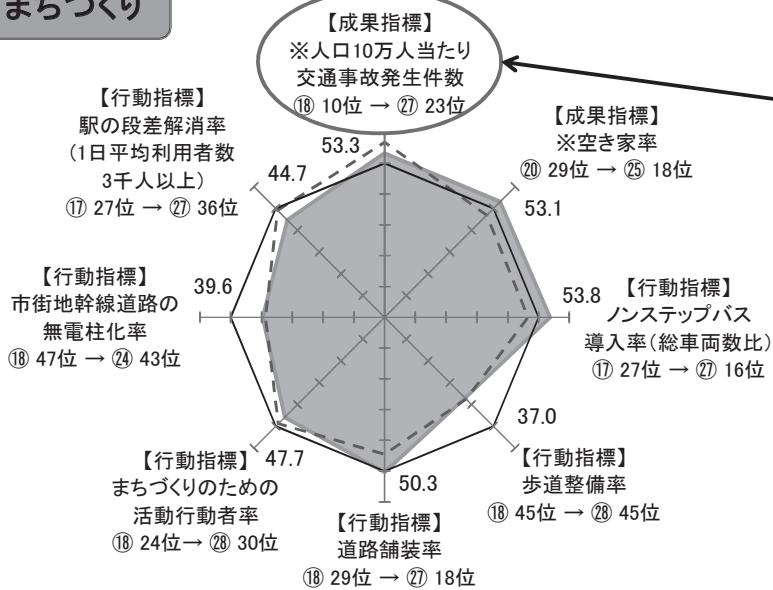
エネルギー



【FIT制度による再生可能エネルギー設備容量 (面積1km²当たり)】

FIT制度による再生可能エネルギー設備容量(面積1km²当たり)は、全国的に伸びているため、全国順位は平成24年度の26位から平成28年度の30位に低下していますが、設備容量は平成24年度の5.41kWから平成28年度の109.26kWと大幅に増加しています。

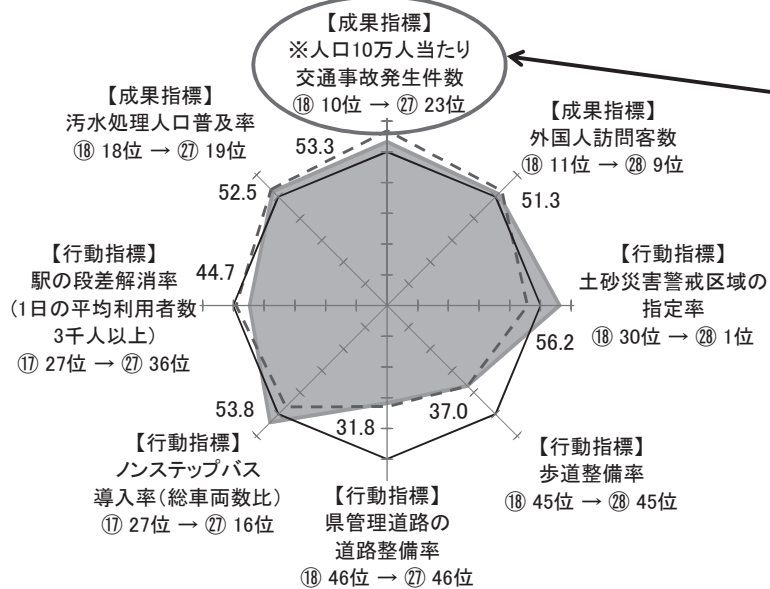
まちづくり



【人口10万人当たり交通事故発生件数】

通学路の危険箇所等の歩道整備等や道路・街路事業の完了宣言箇所の供用を着実に進めています。歩道整備率及び県管理道路の道路整備率は伸び悩んでおり、交通事故発生件数は減少しているものの、奈良県の減少率は全国と比べて低いことから、人口10万人当たり交通事故発生件数の全国順位は下がっています。

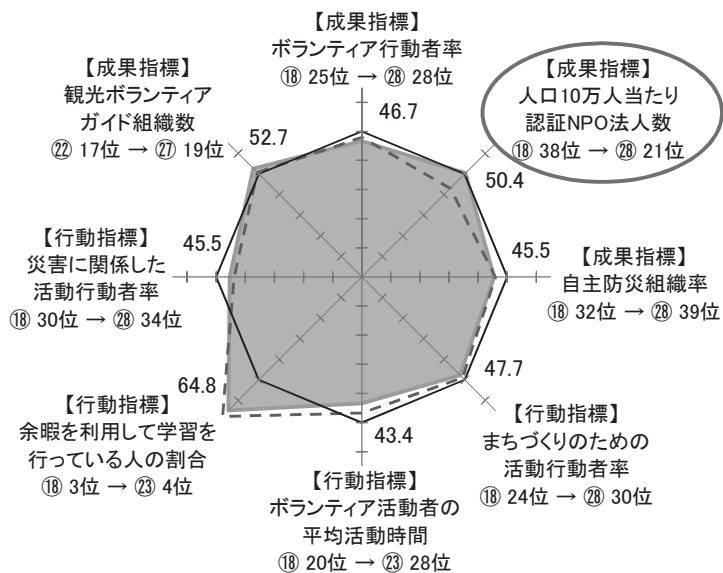
効率的・効果的な基盤整備



【人口10万人当たり交通事故発生件数】

通学路の危険箇所等の歩道整備等や道路・街路事業の完了宣言箇所の供用を着実に進めています。歩道整備率及び県管理道路の道路整備率は伸び悩んでおり、交通事故発生件数は減少しているものの、奈良県の減少率は全国と比べて低いことから、人口10万人当たり交通事故発生件数の全国順位は下がっています。

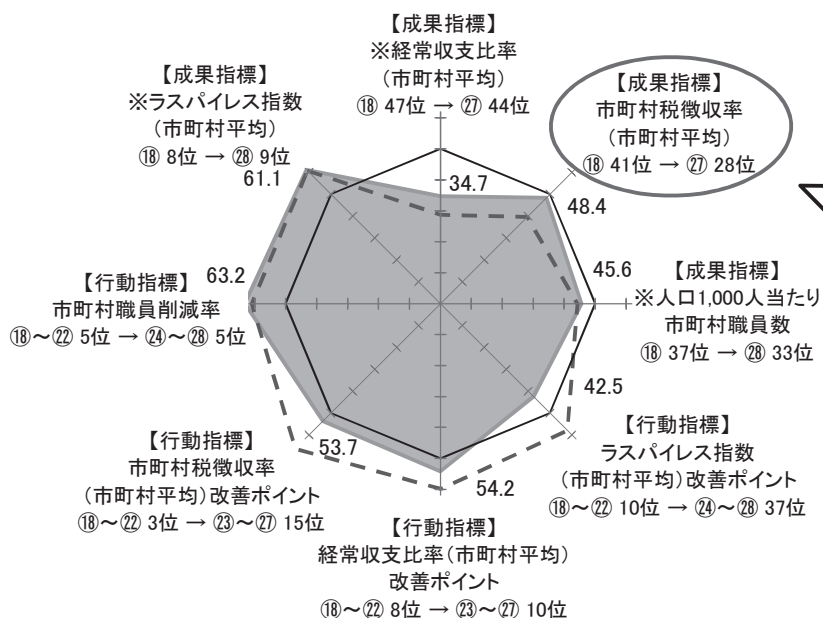
協働の推進



【人口10万人当たり認証NPO法人数】

全国、奈良県ともに、認証NPO法人数は年々増加しており、人口10万人当たり認証NPO法人数の全国順位も上昇しています。

市町村への支援



【市町村税徴収率(市町村平均)】

「奈良モデル」の取組として、県職員を市町村に派遣し協働徴収を行う常駐派遣や7町と協働して滞納整理に取り組むネットワーク型協働徴収等により、6年連続して市町村税徴収率が改善しています。